

【概要版】小樽市子どもの読書活動推進計画(改定版)

本計画は、全ての子どもが読書に親しみ、読書習慣を身に付けることを目標とし、令和元年度から令和10年度までの10年間を計画の期間とし、これまで取り組んでまいりましたが、この度、第7次小樽市総合計画基本計画の見直しを踏まえ、また、策定後に生じた社会情勢の変化に対応し、計画最終年（令和10年度）に向け、一層の推進を図るために、本計画について見直しを行います。

◆ 中間見直しの概要

中間見直しについては、基準年となる平成29年度に設定したアンケート調査の数値や利用状況と、令和5年6月に実施したアンケート調査結果や令和5年度の利用状況比較・検証を行い、これを踏まえて、進捗状況の把握と施策の効果について分析し、目標値の修正などを行うものです。

◆ 読書アンケート調査結果について

昨年度、市内小中学生及び高校生を対象に、「子どもの読書活動に関するアンケート調査」を実施した結果、本計画で示した、7つの評価項目の進捗状況は次のとおりとなっています。

評価	評価基準
A	数値目標を達成したもの
B	数値目標に近づいているもの
C	基準値より後退したもの

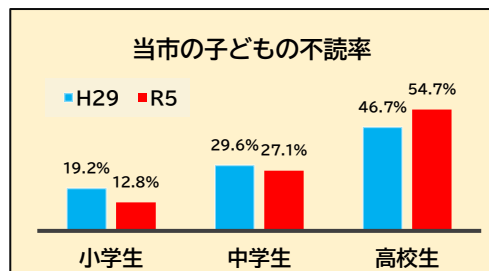
評価項目		校種	基準年度 (H29年度)	現状 (R5年度)	目標 (R10年度)	評価
読書アンケート調査結果	「読書が好き・まあまあ好き」の子どもの割合	小	75.9%	80.9%	80.0%	A
		中	68.3%	68.8%	70.0%	B
		高	71.6%	64.5%	75.0%	C
	1か月の間まったく本を読まない子どもの割合（不読率）	小	19.2%	12.8%	15.0%	A
		中	29.6%	27.1%	25.0%	B
		高	46.7%	54.7%	45.0%	C
	小さいころ、家族による読み聞かせを体験したことがある子どもの割合	小	68.3%	78.5%	70.0%	A
		中	71.5%	77.8%	75.0%	A
		高	72.5%	81.9%	75.0%	A
	市立図書館（移動図書館バスを含む）を利用した子どもの割合	小	32.3%	30.5%	35.0%	C
		中	23.3%	22.7%	25.0%	C
		高	26.5%	39.2%	30.0%	A
	授業以外で学校図書館を利用した子どもの割合	小	65.2%	67.8%	70.0%	B
		中	43.4%	47.2%	45.0%	A
		高	17.3%	13.6%	20.0%	C
連携実績	学校向け貸出しの実施割合（全29校中の実施割合）		97%	100%	100%	A
	図書館と連携した活動を実施した学校の1校あたりの実施回数（図書の貸出しを除く）		1.6回	3.9回	3回	A

学校との連携実績は図書館統計から算出（前回調査と比較するため、上記調査項目には電子書籍は含んでおりません。）

◆ 今後の課題

基準年となった平成29年度と同様、学校の段階が上がるにつれ、不読率が増加している傾向にあり、**読書習慣の定着**が課題となっています。

このため、小学校段階から本に親しむ機会を提供し、中学生、高校生の段階でも読書習慣の定着を図るため、引き続き読書環境の整備に努めていく必要があると考えます。



★小中学生は基準年度より改善し、高校生は後退

小中学生は改善していることから、取組を継続し、読書習慣の定着につなげる。



読書に親しむ環境

読書習慣の定着

新目標値

評価A 5%上昇
評価B・C 現行目標値の継続